

令和4年度持続可能なみやぎづくりを実現するための環境教育推進事業 事業実績書

## 日南市立油津中学校

事業の実施時期：補助を受けた日から令和5年3月31日

### 活動の概要

本校では、SDGsの視点⑫「つくる責任 つかう責任」、⑭「海の豊かさを守ろう」、⑮「陸の豊かさを守ろう」の3点を中心として環境教育を推進した。学校が海岸から非常に近く、地域の環境保全の意識が高いことにより、生徒たちも実生活に密着した視点から環境について学ぶ機会が多い。

今年度はこれまでの取組みを土台として、教師が主導するのではなく生徒が主体となって自発的に活動することを目指した。

SDGsの視点：⑫「つくる責任 つかう責任」⑭「海の豊かさを守ろう」⑮「陸の豊かさを守ろう」

### 1 学校の概要

本校は、日南市の海岸沿いに位置する歴史と伝統のある学校である。本年度は、149名（1年：52名、2年：52名、3年：45名）が在籍しており、雄大な梅ヶ浜が見渡せる自然豊かな環境の中で、生徒たちは毎日の学校生活を送っている。学校目標を「誠意をもって行動し、豊かに伸びようと努力する生徒の育成」とし、「今日が楽しく明日が待たれる学校」をモットーに生徒、職員、保護者、地域が一丸となって教育活動に取り組んでいる。

### 2 活動のねらい

本校の生徒が地域の方々とともに環境改善を意識した貢献活動を行う。また、地域で環境改善に取り組まれている事業所等に訪問して環境に関する学習をしたり、生徒会活動を中心とした地域の清掃ボランティア活動に参加したりして環境に対する意識を高め、その学びを生活に生かせる生徒を育成する。

### 3 活動内容

#### (1) ペットボトルキャップ回収活動

1ヶ月に1回、生徒の家庭で出るペットボトルキャップを回収する4Rを意識した活動を行った。



#### (2) おもてなし花壇植栽ボランティア活動

学校の近くにある花壇の植栽や手入れをする活動。年間3回行い、希望者の参加としているが3年生を中心に、30人近い希望者が集まる。地域のまちづくり協議会の方々に花の植え方を教わりながら積極的に活動できた。

また、この花壇は国道の大通り沿いにあり、「油津地区の玄関口」と言える場所に位置している。地域の景観を美しく保つために、地域の一員として奉仕する大切さを学んだ。



#### (3) 清掃ボランティア活動

油津中学校校区を中心とした清掃ボランティア活動を2回行った。花壇植栽ボランティア活動と同じく、希望者が多く集まり、美化活動を楽しむ姿が見られた。第1回は油津地区堀川運河の文化財的景観を保持することを目的とし、一見するときれいに見える町にも多くのゴミが捨てられているという気づきを得た。

第2回は広島カープ日南キャンプによって、市外・県外から多くの方が訪れる時期を前に、清掃ボランティア活動を通して「おもてなしの心」を育むことができた。また、2月には生徒会、3月には第3学年が学校そばの梅ヶ浜海岸を清掃する。海岸まで徒歩1分という、海に隣接した特徴をもつ本校だからこそ行える、SDGsの視点⑭「海の豊かさを守ろう」に直結する活動であった。



#### (4) EM菌活用液作成・配布ボランティア

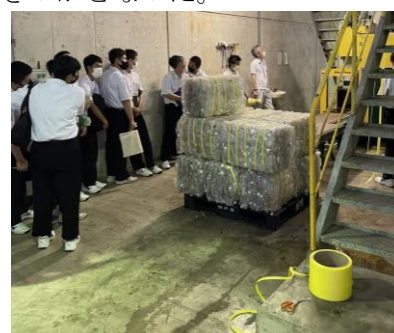
地域で環境改善に取り組まれている事業所の方が講師となって、土壌を豊かにして作物の生長を促したり、水を浄化したりする働きが期待されるEM菌活用液を作る活動を行い、地域の方に配布を行った。



#### (5) 総合的な学習の時間の取組（第3学年）

第3学年の総合的な学習の時間に“日南・串間市の「持続可能な社会環境づくり」に“私・私たち”ができることは？”というテーマを設定し、探究学習を行った。学びを深めるための手立てとして、教育講演会や、実地見学を実施した。教育講演会は、「九州地方環境パートナーシップオフィス 九州地方ESD活動支援センター」の

勝家伸男氏に講演していただき、環境問題とSDGsに関する学びを深めた。実地見学では、日南市黒潮環境センター等を訪問し、4R（Refuse「リフューズ」、Reduce「リデュース」、Reuse「リユース」、Recycle「リサイクル」）に関する学びを深めた。教育講演会と、実地見学をとおして深めたことを、一人一人がパワーポイントにまとめ発表することで、持続可能な社会づくりの一員として自分にできることは何か考えるきっかけとなった。



## 4 成果と課題

### (1) 成果について

- ・ 1年間で様々なボランティア活動を実施できた。ボランティア活動をはじめとする環境教育が一過性のものではなく、継続してこそ意義があることを生徒たちに実感させることができた。
- ・ 地域の環境を改善するだけでなく、地域社会に貢献する気持ちをもつことの大切さを学べた。

### (2) 課題について

- ・ ボランティア活動と環境教育のつながりを意識して企画、実践することができなかった。
- ・ 教科指導を横断した環境教育を学校全体として系統的に推進するために、年度当初の提案や実践を見通しをもって進める必要がある。

学校名：日南市立油津中学校

住所：日南市梅ヶ浜2-2-1

電話番号：0987-23-1149

E-mail：4202ja@miyazaki-c.ed.jp